

令和4年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①新学習指導要領を基盤にクリエイティブスクールの特性を融合した新しい教育課程を確立する。</p> <p>②生徒が学ぶ楽しさを実感できるような授業方法を確立する。</p>	<p>①RT-21 で学び直し及び基礎学力の定着を図る。さらに、教科横断型を踏まえた教材を研究する。</p> <p>②視覚的に理解しやすいよう工夫されたICTを活用した教材をつくり、全教科で共有する。</p>	<p>①毎時の確認テスト及び振り返りを次の教材にフィードバックする。</p> <p>②授業見学だけでなく、効果的な教材づくりの勉強会を行うことで、よりよい授業づくりを実践する。</p>	<p>①確認テストで生徒の躰きを把握する。さらに、毎時の振り返りの結果を次の教材に反映させる。</p> <p>②生徒による授業評価より、生徒の理解及び学習意欲が向上したかを観点とする。</p>
2	生徒指導・支援	<p>組織的な支援体制により、生徒一人ひとりが落ち着いて学習に向き合える環境を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりに社会規範を身に付けさせる。 ・困り感がある生徒への支援策やプログラムを職員間で共有する。 ・行事等において自分の役割を果たし、他者に貢献するという意識を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が共通認識をもって生徒指導・支援にあたる。 ・ケース会議の開催日を設けて、気になる生徒の情報を共有し、早期支援につなげる。 ・行事において自身の役割と責任を自覚させた上で、活動させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣や社会規範を身に付けさせることができたかを振り返り等で確認する。 ・毎月1回以上ケース会議を開催できたか。 ・意識の向上を振り返りで確認する。
3	進路指導・支援	<p>組織を機能的かつ急進的に動かすとともに、地域や外部機関との協働により生徒の自己実現をサポートし、自立できる力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・希望生徒に対して時期に応じて適切なガイダンスを用意するなどきめ細かい指導を行い、希望に沿った進路実現を支援する。 ・進路情報を整理し、より使いやすい仕組みを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の実施時期や方法を工夫する。進路フェアの内容を見直し特に3年生にはより実践的な講座を用意する。 ・職員間の情報共有を促進するため、学年会とキャリアGの連携を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路行事に関する生徒へのアンケートを実施する。より実践的な講座が用意できたかを確認する。 ・合同会議を適切な時期に開催できたか。
4	地域等との協働	<p>①保護者や地域との協働による開かれた学校づくりを確立する。</p> <p>②市との協働事業等に積極的に参加する。</p>	<p>①クリーンチャレンジを通してPTA・生徒・地域の協働で地域貢献活動を実施する。</p> <p>②地域と協働した避難訓練を実施する。</p>	<p>①10月下旬に地域貢献活動を含めたクリーンチャレンジを開催する。</p> <p>②日帰り防災訓練を行い、地域や大和市と防災意識を共有する。</p>	<p>①生徒及び保護者の意識調査を実施し地域貢献に関する意識が高まったかを確認する。</p> <p>②実施後のアンケート調査で生徒に意識の向上を確認する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教育環境の整備と広報活動の充実に取り組み、開かれた学校づくりを進める。</p> <p>②安心・安全の学校づくりを基本に情報管理を徹底する等、事故不祥事ゼロとする。</p>	<p>①母校訪問を通じて本校の教育活動を発信するとともに、生徒の成長を中学校に伝える。</p> <p>②職員研修を通じて教員相互の意識向上を図る。</p>	<p>①訪問する生徒の人数を増やし事前指導を充実させる。</p> <p>②事故防止研修において、協議・意見交換の場を設定し、相互理解から意識向上に結び付ける。</p>	<p>①訪問する生徒数の増加及び生徒の報告から次の広報戦略に生かせるかを調べる。</p> <p>②意識調査及び事故・不祥事ゼロの達成度を観点とする。</p>